

一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会プライマリ・ケア認定薬剤師研修会

「減薬がうまくいくとき、いかないとき

—患者・医療者の視点から再考するポリファーマシー—

(2026 年 10 月 4 日 日曜日【午前】)オンライン開催案内

【一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会は日本医学会の第109分科会です。そして、プライマリ・ケア認定薬剤師制度は公益社団法人薬剤師認定制度認証機構(CPC)から「特定領域」の認定制度としての認証(認証番号P02)を取得いたしております。】

ポリファーマシー対策は、「薬を減らす」ことだけを目指せばよいのでしょうか？

これまでの研究から、薬剤数や潜在的に不適切な処方(PIM)は減らすことができて、それが必ずしも患者にとって重要な臨床アウトカムの改善につながらないことが分かってきています。一方、減薬の意思決定には、薬剤の特性だけでなく、医療者の考え方や多職種間の関係、患者の薬に対する価値観、意思決定への参加意向、減薬への準備性など、さまざまな要因が関係します。

本研修会では、ポリファーマシー介入に関するエビデンスと、講師らが実施してきた介入研究および医療者・患者を対象とした研究を題材として、減薬がうまくいく／いかない背景を考えます。ミニレクチャーとグループワークを通じて、患者一人ひとりに応じた対話と意思決定、多職種での関わり方を検討し、明日からの実践につながるポリファーマシー対策を参加者とともに考えます。

今回は、ZOOMを使ったオンラインでの研修会開催とさせていただきます。研修に参加するには、一人一台のインターネットに接続可能なPC(カメラとマイク付き)、またはタブレットが必要となります。スマートフォンでの参加はご遠慮願います。本研修は、受講者の理解度向上および双方向性を確保するため、安全かつ集中できる環境での受講を必須とします。

(細則による必須領域：A, D)

要 項		
1	主 催	一般社団法人 日本プライマリ・ケア連合学会 薬剤師部会研修担当
2	研修期間	2026 年 10 月 4 日 (日) 【午前】 9:20~12:30
3	研修会場	Zoom を利用したオンラインでの研修会になります。お申し込みで入力したメールアドレスに配信 URL を送付いたしますので、開始時間になりましたら、その URL をクリックして研修会にご参加下さい。研修会終了後、グーグルフォームへのアンケートに当日中にご回答下さい。
4	認定単位	薬剤師:2 単位(認定薬剤師単位)、 医師:3単位予定(更新のための単位 ※但し 1 日単位は 5 単位上限とす
5	受講資格	薬剤師、医師、歯科医師、看護師、医療職、医療関係者
6	定員	80 名(「zoom」のブレイクアウトルームを利用したグループワークあり)
7	受講申込	締め切り:2026 年 9 月 18 日(金)午後 5 時 ホームページからの申込による先着順となり、定員になり次第締め切ります。 電話、ファクシミリ、メールによる申込は受付けておりません。
8	受講振込	申込書を受信後、順次ご入金方法についてご案内させていただきます。 ※ 指定期日以内にお振込みの確認ができない方は、キャンセル扱いとなりますのでご留意願います。
9	受講料	5,500 円 但し、日本プライマリ・ケア連合学会会員は 4,000 円 ※ 受講料入金後のキャンセル又は欠席の場合、原則として受講料の返金はできません。
問い合わせ先：日本プライマリ・ケア連合学会事務局担当係プライマリ・ケア認定薬剤師研修会事務局 〒550-0001 大阪府大阪市西区土佐堀 1-4-8 日栄ビル 703A 有限会社あゆみコーポレーション内 TEL:06-6449-7760 FAX:06-6441-2055 j pca@a-youme.jp		

プログラム

2026 年 10 月 4 日（日曜日）

9 : 20～12 : 30	「減薬がうまくいくとき、いかないとき —患者・医療者の視点から再考するポリファーマシー」 講師：家 ポリファーマシー対策は、「薬を減らす」ことだけを目指せばよいのでしょうか？ これまでの研究から、薬剤数や潜在的に不適切な処方（PIM）は減らすことができて、それが必ずしも患者にとって重要な臨床アウトカムの改善につながらないことが分かっています。一方、減薬の意思決定には、薬剤の特性だけでなく、医療者の考え方や多職種間の関係、患者の薬に対する価値観、意思決定への参加意向、減薬への準備性など、さまざまな要因が関係します。 本研修会では、ポリファーマシー介入に関するエビデンスと、講師らが実施してきた介入研究および医療者・患者を対象とした研究を題材として、減薬がうまくいく／いかない背景を考えます。ミニレクチャーとグループワークを通じて、患者一人ひとりに応じた対話と意思決定、多職種での関わり方を検討し、明日からの実践につながるポリファーマシー対策を参加者とともに考えます。 （ 細則による必須領域 A, D）
----------------	---

20 分以上の遅刻・早退は原則単位になりませんのでご注意ください。

【講師紹介】

氏名：家 研也（医師）

所属：聖マリアンナ医科大学・准教授

川崎市立多摩病院総合診療内科 部長